

嘉麻市社協だより

今年も
仲良くしようね

～足白小学校うさぎ飼育係～

えがお

発行日 2011.1.1

No.59



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

商店の閉鎖は地域のつながりに影響…

団地の中にあった商店が閉鎖して、ちょっとした買い物がすぐできなくなって、不便になったと感じている方もおられるのではないのでしょうか。

炭鉱最盛期には、市内の商店街も、また、地域の個人商店にも活気があふれ、子どもにとっても、大人にとっても身近な社交の場としての色合いを帯びていました。

しかし、炭鉱の閉山、人口の流出、過疎・高齢化、経済不況という時代の荒波を受けた今日、身近で、かつ生活に密着していたスーパーや商店の閉鎖が、市内においても自然と目に付くようになりました。

今回のクローズアップ嘉麻は、この事を福祉の視点から捉え直してみるために、お二人の方取材しましたので、そこから見える地域への影響や課題等を考えてみたいと思います。

平東行政区に住むAさ

ん(80歳代女性)の近所にあったスーパーは、当時、単に買い物をする場所というだけではなく、いつもそこに行く顔見知りの誰かがいて、世間話ができる、「憩いの場や気晴らしの場」としての役割を果たしていたと言います。

そのスーパーが、10年前に閉店してからは、歩いて30分ほどの所にある商店での買い物を余儀なくされました。体調が良かった頃は、苦にならなかつた道のりも、高血圧などの持病が悪化した最近では、買い物荷物を持つての移動は、心身ともに負担を感じるようになっていきます。必然的にバスやタクシーを利用したり、市外に住む娘さ

んの車で連れて行っても

らうことが多くなり、元々、買い物が好きなAさんにとっては、家族といえども、自分の家庭のこともある娘に負担をかけることや、交通費などの経費のことを考えると、「昔のように、近所にスーパーがあれば…」という思いになることも、また必然的なことであると思います。

また、小野谷行政区に住むBさん(80歳代男性)は、以前から近所にスーパーが無いので、買い物はいつも奥さんと車で出かけていました。それは、買い物と同時に夫婦の時間を持てる「楽しみの時間」であったと話します。その最愛の奥さんを10年前に亡くされてからは、毎日の夕飯

の惣菜を買いに行くことだけが、目的となり、店先で店主と会話を交わす余裕がなくなった。よつとした時が、さみしさを紛らわせる時間となるそうです。

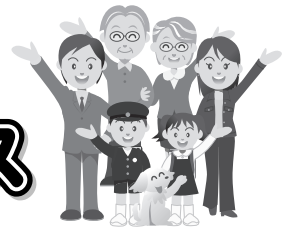
若者世代にとっては、欲しいものが一ヶ所で揃う郊外のショッピングセンターやディスカウントショップと言ったところが、買い物の場所としての主流だと言えます。しかし、加齢のために車の運転が困難になったり、足腰が弱っていき高齢者にとっては、身近な商店こそが何よりとなり、そこは、買い物をしている場所というだけでなく、人とふれあいやつながりを感じられる特別な場所なのです。

「物を買う」ということだけをとらえれば、宅配や移動販売、電話やインターネットでの購入など企業や商店の努力により、解決がなされるのかもしれない

せん。しかし、人とのつながりやふれあいを再建させるという側面には、及ばないのが現実です。

この両面を兼ね備えた「地域の商店」。それが様々な社会背景によって消えゆく今日にあつて、何が求められるのか、何ができるのかを考えていかなければならない時期にあるのだと感じます。

全国的には、商店街の空き店舗を利用して、ふれあいいいきサロンの開催をしている先進地もあります。買い物ついでにサロンに立ち寄り、あるいはサロンの帰りに買い物をするなど、人とのつながりも作れる仕組みとしてとても優れた取り組みだと思えます。本市においても、今後、「本市らしい取り組み」を地域住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。



知り合おう 伝えよう みんなの活動、地域のホットニュース

郷土が生んだ天下無双の横綱 不知火光五郎関



横綱の土俵入りには、攻守

兼備を表現する「雲竜型」と、攻めを表現する「不知火型」があります。近年では、「不知火型」の横綱は短命となるというジンクスから、雲竜型の土俵入りが主流となつていきます。しかし、「平成の大横綱」の白鵬関は、不知火型で、皆様もご存じのとおり大活躍です。

この不知火型は第11代横綱不知火光右衛門関が考案したという説と、本市(旧山田市)出身の横綱不知火光五郎関が考案したという二つ

の説があります。

光五郎は、弘化4年(1847年)9月7日、筑前國嘉麻郡下山田(現新原行政区)に住んでいた佐藤利平氏の次男として生まれました。子ども

の頃から力持ちで有名だった光五郎は、初代横綱であった梅ヶ谷関に見込まれ弟子になる頃には、米俵4俵(240kg)を両手、両足に結びつけて歩いていたという逸話も残っています。

「山響」に改名しました。さらに強さを備えた光五郎関は、関西相撲界で横綱となり、明治14年(1881年)に横綱不知火光五郎関となりました。翌年、東京回向院(えこういん)で行われた関東関西合併の大相撲夏場所で見事全勝優勝を果たし、日本一の大横綱になりましたが、その優勝を祝う席で、

光五郎関の実力と出世を妬む何者かによって毒をもらわれ、35歳の若さで生涯を閉じたと言われています。この取材にご協力いただいた市文化財保護審議会の石井春美さんは、「私たちの住むまちに立派な大横綱がいたことを一人でも多くの子どもたちに知ってもらい、

何事にも負けず、諦めない精神力を養うきっかけになればと思います。」と郷土の英雄を語ります。また、この大横綱が山田出身であることはあまり知られておらず、すでに130年が経過した今では、語り継ぐ人も少なくな

ってきていることに、一抹の寂しさをおぼえるそうです。光五郎関の墓碑は、梅林公園の安国寺の境内に建立されています。左手に日本刀を携え、大きなしめ縄の化粧まわしを締めた光五郎関のまなざしは、ふるさとの子どものたちの成長を見守っているかのようです。

梅林公園では、毎年春先には観梅会で賑わいを見せます。あなたもこの機会に訪れ、郷土の大横綱不知火光五郎関の雄姿に触れられてはいかがでしょうか。



不知火関の人生が書かれた顕彰碑文

大規模災害から見えてきたもの

NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク／常務理事 寺本弘伸

1995年1月17日朝5時46分、阪神・淡路大震災が起きました。兵庫県内の神戸市、芦屋市、西宮市などを中心に、震度6〜7の大きな揺れにより甚大な被害が出ました（死者6、434人）。家屋やビルはいたるところで倒壊し、鉄道や道路、電気や水道などのライフラインも完全にマヒしてしまいました。多くの人々が路上に立ちつくし、避難所になった学校などは被災者であふれていました。まさか阪神間にこのような大きな地震が起こるとは、誰も予想していませんでした。

被災地のいたるところで、倒壊した家屋の中に住民が閉じ込められ救助を待っています。だが、あまりにも被害の規模が大きかったため、なかなか救助には来ていただけませんでした。亡くなった方の多くは、家屋の倒壊による圧死でした。自

然災害の前には人間の力は無力だということを思い知らされた気がします。運よく難を逃れた人たちは、余震により倒壊するかもしれないという恐怖により、たとえ自宅が大丈夫である小学校などへ避難しました。避難所の学校の体育館では被災者であふれ、運動場は避難してきた人たちの車やテントで埋め尽くされていきました。

被災地のいたるところで、倒壊した家屋の中に住民が閉じ込められ救助を待っています。だが、あまりにも被害の規模が大きかったため、なかなか救助には来ていただけませんでした。亡くなった方の多くは、家屋の倒壊による圧死でした。自

まず困ったことは、やはり食料の問題でした。地震当日はおにぎり一つ食べるのができなかつた方が多数出ました。救援物資が届くには時間がかかりました。当時、西宮市の例を見てみると、地震当日に西宮市役所に駆け付けられることができた職員数は全体の1割程度でした。普段なら行政がある程度、住民のサポートをしてもらえるというイメージがあるかと思いますが、行政職員も被災者

このように、大規模災害では、街のあらゆる機能がマヒしてしまします。特に阪神間では、大規模災害に備えたマニュアルの作成や、大規模な防災訓練

発生したら、ライフラインだけではなく、行政などの組織のシステムや輸送機関も機能しなくなるということです。救援物資がなかなか届かなかった原因の一つは、被災地外から、救助者や救援物資などを運んでくる車で、被災地内のことろで大渋滞が発生しました。その中には、被災地外へ避難する者、被災者の安否を確認するために駆け付けた者、ボランティアをするために駆けつけてくる者など、色々な想いをもった方々が混ざり合っていました。この大渋滞によって、本場に必要ない被災者の救援や救援が妨げられたのも事実です。

このように、大規模災害では、街のあらゆる機能がマヒしてしまします。特に阪神間では、大規模災害に備えたマニュアルの作成や、大規模な防災訓練

寺本弘伸^{ひろのぶ}氏プロフィール

NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD) 常務理事

大阪市生まれ。大学卒業後、大阪YMCAにて青少年活動に従事。

1995年阪神・淡路大震災の際には約1年にわたり復興のためのボランティアに参加。

1996年から日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)の専従職員として、「防災とは言わない防災」をキャッチフレーズに、災害図上訓練や災害救援シュミレーションなど防災意識向上に向けた多くの企画実施に携わる。

2007年にはNVNADの常務理事に就任。2009年には兵庫県佐用町の水害救援、復興活動の支援に従事。



料理作りは案外楽しいね

～山野第一・口春地域福祉部 男性料理教室開催～

「男子、厨房に入らず」と言われていた時代は過ぎ、最近では、男性も積極的に厨房に立つことが必要な時代となってきました。そのような中、山野第一と口春地域福祉部で、男性を対象とした料理教室が開催されました。

11月25日(木)、山野第一公民館に集まった男性は、9名。参加動機は、「知人に誘われたから」「たまには自分で料理でも作ってみようか」「家族が体調を崩しても困らないように」とまちなちですが、初めて料理する方でもわかりやすいようにと福祉部が作成したレシピ



を参考にし、鶏肉のソテー、石狩鍋などを作りました。3つのグループに分かれ、「どのくらいの大きさに切ると?」「適当でいいばい。」など話し合いながらの作業に、自然と笑みがこぼれます。調理が終わり、配膳が整うと、「待つてました。」とばかりに席に着き、料理の味付けや世間話などで盛り上がりました。回覧板を見て参加されたという方は、「地域の行事に参加したのは、初めてでしたが、楽しかったです。いろいろ教えていただいたので、今度は、家で試してみます。」と挨拶し、会場には笑い声と拍手がおきました。



また、11月27日(土)、口春公民館の調理室には、12名が集まりました。豚汁の準備のため、ごぼうの削ぎ切りや里芋の皮むきに挑戦する男性に、「ごぼうは鉛筆削りの要領ですと良いですよ。」と福祉部の女性役員がわかりやすくアドバイスをおくります。徐々に包丁を使うことに慣れてくると、「男の方が野菜を切るのが上手ばい。」と自画自賛する声も聞かれました。鯖の煮つけを作る時には、調味料の加減が難しいという声も多く、



お互いに味見をしあうなど、厨房は和気あいあいとした空気に包まれました。この二つの料理教室の取材を通して、男性の方々にとっては、この教室が料理作りの楽しさに触れると同時に、地域とつながる貴重な機会となっていることを感じました。近頃は、家事や育児を楽しみ、協力する男性のことを「カジメン」「イクメン」と呼んでいます。今回、両地域では、新たな「カジメン」が誕生しました。

ボランティアさんに 聞きました

平嶋ミユキさん(熊ヶ畑在住)



ボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。

今までお世話になってきた地域に何か恩返しをしたい、と思っていた時に社協だより「えがお」でシルバーケア嘉穂が主催する秋祭りのボランティア募集の記事を見つけました。知っていた施設だったので、思いきってやってみようと思い立ち、ボランティアセンターに電話しました。

初めてのボランティア活動はどうでしたか。

最初申し込んだ時は不安の方が大きかったのですが、事前に職員の方と打ち合わせをする機会があったのでスムーズに活動することが出来ました。今回は、たこ焼きの模擬店を担当しました。以前地域の行事で経験した事があったので、余裕を持って楽しく出来ました。あまり利用者の方と話す機会は少なかったのですが、他のボランティアの方と一緒に活動しているという一体感が感じられ、とても充実した1日でした。

これからどのような活動をしていきたいですか。

まずは自分で出来そうな事から一つずつやっていきたいです。絵手紙を作るのが得意なので、それを生かせる事が出来たら良いなと思っています。無理をせずに楽しみながら活動を続けていければ良いですね。

ボランティア情報

水泳ボランティア募集

障がいのある子ども達と一緒にプールに入り、水中でのレクリエーションの補助をしていただける方を募集しています。

日時 毎月第3土曜日 10時15分～12時30分

場所 山田サルビアパーク(上山田352)

内容 水中レクリエーション、リズム遊びの補助
※初めての方も安心して活動できるよう、指導者がサポートします。



ふくおか子ども駅伝 in 嘉麻 ボランティア募集

県内では随一と言われるふくおか子ども駅伝 in 嘉麻が開催されます。その運営に携わっていただける方を募集しています。

日時 2月19日(土) 12時30分～14時30分
2月20日(日) 8時～16時 雨天決行
※どちらかのみ参加でも構いません。

集合場所 嘉麻市山田生涯学習館前大会本部

内容 19日 テントの運搬
20日 コースの整備、後片付け

募集人数 5名程度

募集締切 1月28日(金)
※2月15日(火)19時から山田生涯学習館でボランティア事前説明会を行います。

ふれあい千歳新聞

新しい発見があるかも

お友達、職場、ご近所のちょっとした集会や会合に、ぜひ千歳会館をご利用ください。

会館には、10人程度の小会議室と50人程度の大会議室があり、どちらも冷暖房(有料)が完備され、明るく静かな環境となっています。

また、会議だけではなく、受験などの学習の場としても最適です。

「近くにこんなところがあったのか」と、新しい発見がきっとあると思います。下見だけでも大歓迎です。お気軽にお立ち寄りください。



【開館日・時間】

月～金曜日の午前8時30分～午後5時(祝日、年末年始【12月29日～1月3日】を除く)

【使用料】

小・大会議室・相談室 1,000円/3時間未満 3時間以上 500円/1時間
 焼物室・染物室 1,500円/3時間未満 3時間以上 500円/1時間

※冷暖房使用時は5割増となります。

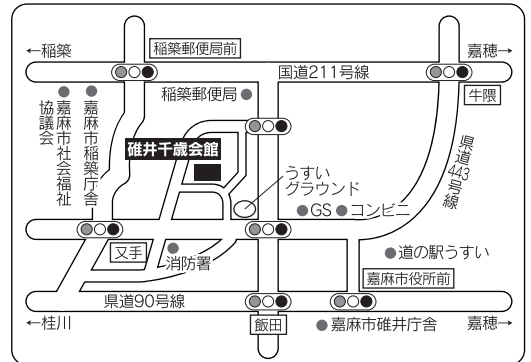
※利用に際しては、申請が必要となりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

【その他】

館内には子育てリユースセンターも常設していますので、ぜひご来館ください。

【お問い合わせ先】

碓井千歳会館 電話 0948-62-3538
<http://kama.syakyo.com/siteikanri.htm>



嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

きど葬祭やまさ碓井斎場

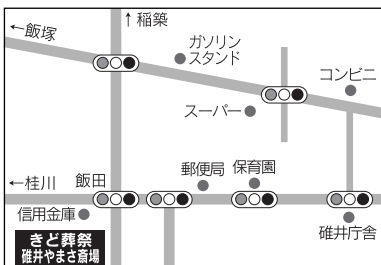
嘉麻市飯田214-1 ☎(0948)62-4499

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします。」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



- 24時間年中無休です。
- 精一杯真心で御奉仕致します。
- いつでもどこでもお伺い致します。
- とつてもお得な「きど葬祭やまさ倶楽部」会員募集中

【案内図】



知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 no.44



今回ご回答頂くのは…
 きど葬祭やまさ
 碓井斎場
 すえなが たいじ
 末永太二さん

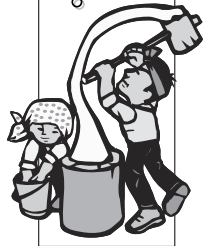
Q どうしても葬儀に出席できない場合はどのようにすればよいでしょうか。また、その際に注意することを教えてください。

A お通夜に出席することが望ましいと思いますが、それもできない場合は友人、知人に香典を預けるという方法もあります。それも不可能であれば、後日ご自宅にお参りに行くのが良いでしょう。その場合は、一週間以内に連絡をとって、ご自宅を訪問してください。また弔電を送るのも良いと思います。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に8カ所あります。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ひさつね会館……………☎52-0758 | 善光会館 稲築会場……………☎83-5000 |
| いすや会館……………☎57-4444 | 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241 |
| セレモニーホールおおつか…☎52-1212 | おかむら葬祭 岡村会館……☎42-4420 |
| かほ葬祭 あじさい会館……☎62-5566 | |

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

11月1日～11月30日受付分

【百々谷】

親族 岡部 清 様
故 岡部 シゲ 様

【蛭子】

親族 溝口 クマヨ 様
故 溝口 一義 様

【中央】

親族 江頭 奈緒子 様
故 江頭 和昭 様

【鴨生第二】

親族 渡邊 勝美 様
故 渡邊 イハエ 様

【木城】

親族 坂本 信吾 様
故 坂本 玉子 様

【山野第二】

親族 坂口 博 様
故 坂口 イソ子 様

【西岩崎】

親族 白杵 利光 様
故 白杵 チエノ 様

【漆生本村】

親族 神崎 幸子 様
故 神崎 政勝 様

【下白井東】

親族 堀内 修三 様
故 堀内 文子 様

【中益】

親族 中嶋 誠 様
故 中嶋 恵美子 様

【屏】

親族 山根 房子 様
故 山根 五郎 様

【千手】

親族 田子森 重敏 様
故 田子森 カオル 様

【大隈】

親族 山本 貴 様
故 山本 茂喜 様

【上牛隈】

親族 升永 ヒデ子 様
故 升永 弘利 様

【嘉穂才田】

親族 和田 サヨ子 様
故 和田 ミサヲ 様

【末吉カツエ】

親族 末吉 政文 様
故 末吉 カツエ 様

【上】

親族 大屋 寅美 様
故 大屋 ツタエ 様

【廣方栄子】

親族 廣方 栄子 様
故 廣方 吉子 様

【一般寄付】

嘉穂の名水愛好者一同 様
木目込教室 むつみ会 様

【リユース】

漆生老松 増田 さと子 様
口春 永富 明子 様
山野第二 西村 優起 様
山野第二 榎井 優貴 様
山野第二 藤原 春代 様
平第二 手柴 加代子 様
下白井西 井上 忍 様
平山 奥 良子 様
南ヶ丘団地 清水 愛味 様
石ヶ崎 渡邊 綾 様
熊本 中島 瞳 様

【アルミ缶】

下白井東 匿名 様
神幸 松岡 美知子 様
石ヶ崎 渡邊 美千代 様
本町 室井 榮子 様
下牛隈 畠中 鈴香 様
牛隈北区 吉原 久美子 様
馬見 匿名 様
飛鳥会館 匿名 様

【古切手】

西岩崎 渡辺 としこ 様
石ヶ崎 渡邊 美千代 様
中央 明石 睦則 様
（株）トモス
大山産業 様
平和舗道（株） 様
教育ナビゲーション（株） 様
嘉麻市高齢者介護課 様
嘉麻市保護課 様
ふるさと探検隊 様

【リングプル】

ちくほう三線友の会 様
枝坂 森 章枝 様
石ヶ崎 國武 美千代 様
熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様
熊ヶ畑第二 樋口 想 様
熊ヶ畑第二 樋口 陽樹 様
木城 栗原 伊織 様
木城 貞松 陽子 様
筑紫 原田 マサ子 様
筑紫 原田 ミツ子 様
神幸 村上 フクエ 様
飯塚市 柳井 美優 様
ふるさと探検隊 様
田中茶舗 様
嘉麻市保護課 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)
11月1日～11月30日受付分

〔個人会員〕

〔稲築地区民生委員児童委員

協議会〕深川貢、松田クニ子、

桑名多恵子、富崎静江、山下

和代、永光克好、熊谷政幸、麻

生絹代、石川松恵、原田和代、

藤春満智子、山下晃、中村恒行、

飯田千鶴美、富崎政勝、深見

量眞、越岡加代子、後藤ノブ子、

森山肇、西坂勝正、米原太輔、

平井由子、荒木久美子、宮崎

壽賀子、小川征司、丸山光男、

岩橋恵美子、野田義則、犬丸

且也、添田光吉、山下十美子、

山下勝子

〔鴨生第一〕留奥トメ子、湯谷

惇丹(三口)、多田ノリ子、三

角康仁、林米子、嶋田美佐子、

川原幸子、安部愛子、高橋政

江(二口)、野見山照男、井手

恒子、佐藤弘光(二口)、添田

政光(二口)、末光信昭、野見

山佳昌、平野ミサヲ、平野卓義、

笹栗生馬、山本祝、国岡登、金

丸アサカ(三口)、金丸ヤツ子

(二口)、野寄正弘(三口)、安

元和義、山下晃、梅根繁、中村

恒行、中村由美、伊東重子(二

口)、岩佐登美男、畑卓一、粕

井八重子、林正文、林昭子、藤

原袈裟秀、藤原美知恵、平田

洋子、堀利彦、堀初、川上祐正、

渡辺勝美、河野敏、手島紫折、

平野幸夫、太田テル子(二口)

山田栄(二口)、熊谷シズ子、

月俣昇、添田ナミエ(二口)、

熊谷百合子、中村香保子、百

田千恵、山下勝子、安永文太郎、

添田文彰、河野政光(二口)、

河野照代(二口)、川端吉鹿(二

口)、秋穂勝幸

へアーサロンエミ、おかもと

美容室、稲築愛恵医院(十口)

〔鴨生第二〕徳丸隆之、渡辺博

旦、高倉邦子(三口)、西一雄、

古川宏、山本活樹、森江富子、

十亀恵子、高井源一、明比満、

原岡徳光、原岡隆徳、高山広

吉(二口)、横多文恵、伊藤正巳、

富崎清子(二口)

〔飯田〕高嶋眞弓

〔中央〕佐伯久美子、明石睦則、

大里勝美、坂本信吾、須崎醇二、

納富玲子、松岡孝、山本トミ子

〔日吉〕穴井峯敏、穴井アヤ子、

青木とし子、青木正親、浅野

英子、飯田恒喜、今村ハル子、

大野サツエ、河村一、木下ト

ミ子、桑野スズ子、後藤トキエ、

田中和昭、久恒清、藤田眞吾、

松岡フジエ、松向清茂、森本

月夫、角本房恵、木村豊次、定

政一、松向秀昭、浦田守、

〔大橋〕手塚續、手塚恵美子

〔西川〕柴田美香

〔古河〕三輪美樹

〔木城〕大塚静、岸房綾子、有

山和子、江藤ヒサエ、大塚ツ

ルエ、梶原正利、松尾フジ子、

樫原チトセ、重松紀久子、松

岡孝司

〔下牛隈〕田中忠男、田中三根子

〔愛媛県松山市〕木許芳子

〔法人会員〕

〔鴨生第一〕平野歯科医院、シ

ルバーケア嘉穂、田村環境開

発工業、平野医院



2月の
総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

法律相談

と き: 2月3日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 2月17日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 2月9日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 2月23日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

故郷は大切な宝物

福島に嫁いでからと言うもの、方言を聞く機会がなくなり、昔は、何とも言えない寂しさに、おそわれたものでした。唯一の助っ人と言えど勿論電話なので、以前は、よく電話したものです。故郷を思い浮かべながら、ありとあらゆる風景が、後から後から溢れ出てきました。遠賀川の源流の美味しい水。馬見、古処、屏の三山に、豊かな田園風景。しかし近頃では子ども達の成長にもない、以前のように、まとまった休日が取れず、しばらく帰省していません。



福島県郡山市在住
齋藤 久子さん(46歳)
牛隈出身

わたしは、小学生の頃まで稲葉町、中学生からは、嘉穂町で育ち、四季折々に多くの思い出があります。

春は、母や友達と、つくし採りに出かけました。楽しくて楽しくて、夜夢を見る程でした。掘りたての筍の味も忘れられません。レンゲ草摘みに夢中になり、帰宅が遅くなることもありました。夏には、蛭を見に行ったり蝉とりをしたり、盆踊りに参加したりと、わたしの一番好きな季節でした。秋には、父の実家へ、米の収穫の手伝いに行き、わたし達子どもは、美味しそうに、色づいた柿を食べたり、沢ガニを捕まえたりして遊んでいました。夕暮れになると、ひんやりした空気に、粉殻を焼く匂いがして、深まる秋を感じたものです。冬にも、年越しを迎えるために、父の実家へ出かけ、杵でついた熱々の餅を祖母が一口大にちぎり、丸餅を作る手伝いをしました。寒い冬も大勢の親戚が集まり過ぎた時間は、とても暖かでした。子ども達だったわたしにとっては、お年玉がもらえる事は、心踊る出来事であったのは、言うまでもありません。牛隈には、家族が住んでいます。両親共々健在で、時々電話で話をします。季節ごとに父の手作り野菜や、母の漬け物など、ふるさとを一杯箱詰めに送ってくれます。兄弟から「筑豊の方言」という本をプレゼントされ、懐かしい面々を思い出すこともあります。また、かつて勤務していた会社の先輩からは、ふるさとを忘れないようにと、故郷の写真入りのカレンダーが毎年暮れに送られてきます。

嫁いで二十一年が過ぎますが、お陰様でふるさとを忘れたことはありません。支えてくれる人達に、大変感謝しています。

わたしには、大学生の娘と、高校生の息子がおります。娘が県外での新生活をスタートさせる際、母の気持ちがおぼろげに少しだけ理解できたような気がしました。まだまだ、これからのわたしですが、ふるさとがわたしを支えてくれているように、夫や子どもたちを支え、家族や友達に会える日を楽しみに、日々を過ごしたいと思います。

このような機会を頂けてふるさとを再認識する事ができました。感謝いたします。今後、嘉麻市のますますの発展と、皆様の幸せを、お祈りいたします。

市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



やまはる
(写真提供:山下靖治さん)

この写真は、今はなき国鉄漆生線の鴨生駅を撮影したものです。昭和35年の最盛期には、3千トンを超える石炭を取り扱っていたそうで、当時の様子を知る山下靖治さんは、「石炭を積んだトロッコ列車が100台くらい連なっていたことも珍しくなかった。」と活気が満ちあふれていた頃の駅を回想します。

石炭を始め旅客、貨物の輸送と地域の方に親しまれていた同駅ですが、昭和61年の漆生線の廃止に伴い、廃駅となりました。現在は、公園として生まれ変わり、駅名票を模した案内書きの前には、トロッコの車輪が置かれ、炭鉱とこの駅のつながりの深さが偲ばれます。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)

